上矢作小学校だより

大船山

第　2　号

令和元年　5月　7日

ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/

ＰＴＡ総会で１日短くなりましたが，４月２８日から５月６日までの９連休が終わり，平成から令和へと時代が変わりました。学校にも子どもたちのにぎやかな声が戻ってきました。今週から家庭訪問が始まり，来週は地域めぐり，再来週には６年生の修学旅行が控えています。日常の学習も含めて，元気いっぱいに取り組んでいってほしいと思います。

あいさつの取り組みについて

４月２７日のＰＴＡ総会で，今年度の活動テーマとして「家庭・学校・地域でさわやかなあいさつをひびかせよう」が承認されました。総会に先立ち行われた朝のＰＴＡあいさつ運動では，多くの方が参加され，児童玄関前で子どもたちに声をかけていただきました。お忙しい中，ありがとうございました。（右の写真）　今年度，学校としても，ＰＴＡとも連携を図りながら「あいさつ」の指導に力を入れていきます。

少子高齢化や労働人口の減少，ＡＩ技術の進歩によるＩＣＴ社会の発展など，これからの予測がつかない社会の中で生きぬいていく力を子どもたちは身につけていかなくてはなりません。そんな社会の中でも，よりよい人間関係を構築していくためには，コミュニケーションの力は欠かせません。「あいさつ」は日常的に行われ，単純なもののようですが，その中には相手を意識し（気づく），自分を発信する（声を出す）というコミュニケーションの基本要素が含まれています。上矢作で生まれ育った子どもたちは，中学校卒業後，町外へ出て活躍するわけですが，どのような環境であっても，コミュニケーションの能力が求められます。そのための素地をしっかりと身につけさせたいと考えます。

しかし，昨年度（２学期末）の学校の教育活動の保護者評価によると，全体的に高い評価を受けながらも，「家庭や地域であいさつができていますか。」という項目については，十分満足できる 14.9%，おおむね満足できる 48.9%で，肯定的評価を合計しても 63.8%しかありませんでした。

そこで，昨年度３学期からあいさつに特に力を入れ，児童会の活動とも連携して指導を実施してきました。観点として以下の４項目を示しました。

１．元気に　　子どもらしく勢いのある元気な声であいさつができる。
２．自分から　　相手にされる前に，自分から相手に気づいて先に声をかけられる。
３．目を見て　　しっかりと相手の顔を見てあいさつができる。
４．笑顔で　　笑顔は相手を思いやり，元気を与えます。

今年度４月当初に２～６年生に行ったあいさつの自己評価は以下のような結果でした。

観点項目	いつもできる	だいたいできる	合計
１．元気なあいさつ	42%	39%	81%
２．自分からあいさつ	39%	39%	78%
３．目を見てあいさつ	37%	39%	76%
４．笑顔であいさつ	37%	32%	69%

自己評価ですので，個人の基準の違いはありますが，これらの数値が取り組みによってさらに向上していくことをめざします。また，学校の中だけでなく，家庭や出会った地域の方にもできるよう，それぞれの子どもの現状に合わせてあいさつのレベルアップに取り組んでいきます。家庭や地域の方にもご支援ご協力をよろしくお願いします。